

平成27年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	茶屋町	地区内に11の空き家がある。この先、空き家の利活用が重要となる。	空き家については全国的に問題となっており、町でも800件ほど空き家があり、対策を始めている。
2	茶屋町	空き家の問題について、空き家にしておくと税金が安いから放置してしまうのではないのか。空き家を活用する前の段階での対処も必要ではないのか。	空き家の所有者に依頼をするとともに、難しい場合には法律に基づいた対応をしようと考えている。
3	茶屋町	国勢調査について、自分の住んでいる地区とはまったく違う地区を割り当てるよりも町内会などのネットワークを活用すれば良いのではないのか。	個人情報の扱いが難しく、近所の方が調査をし、回収をするとなると見られるのではないのかといった住民の方の不安が出てくるため、調査員に関連のない地区をお願いしている。
4	茶屋町	子どもが増えない家庭の一番の理由は経済的な問題が大きいのではないのか。町としては具体的にどのような援助を行うのか。	小児医療費の所得制限の緩和や、保育園・幼稚園保育料を第2子以降は無料化し経済的な負担を減らしようと考えている。
5	茶屋町	町では子どもが増えているが、その両親の働く場といったものがない。企業がなければ他へ転居してしまうのではないのか。そのため、大磯で働き、大磯で育てるような仕組みを作るべきでは。	雇用について常に念頭においている。雇用の場としては程遠いが港で行われている大磯市を通して、大磯で働きたいと考えている若い世代が何人か大磯に移り住んでいる。また、農業についても、ここ数年で大磯で農業をしたいと考えて定住する若い世代が増えている。 企業を誘致することは難しいので、空き家・空き店舗などを活用するなど、規模は小さいが大磯の良さを発信し移り住んでくれる方々を呼び込みたい。
6	茶屋町	教育には費用がかかるが、場合によっては教育関係の施設の統合はしないほしい。教育や子どもを支援する場を充実させてほしい。	極端な話をすれば、公共施設を再編すれば、役場庁舎と学校が残るだけになる。 公共施設の維持管理費も町財政を圧迫しているため、これから公共施設の再編に取り組んでいくが、施設配置や費用対効果等を考慮して進めていく。

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
7	茶屋町	空き家などを利用し、町民が集まり地域で活動する場があるとよいのでは。	空き店舗などは、これからますます問題となってくる。近隣の方や区長さんとも相談し、活用できるものは活用してほしい。
8	茶屋町	子ども達が、地元をどうしたいかを協議する場があればいいと思う。	子ども議会というものを開催しており、協議する場を設けている。
9	茶屋町	大磯高校に通学をしている生徒に対して、大磯という場で活動が出来るよう町としても積極的に力になるべきだと思う。	大磯高校にSF研究部という映像を制作する部活動があるが、防災や町をPRする動画を作ってもらった。今後も更に協力してもらおうと考えている。